

令和5年度 高砂市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

1 認知症地域支援推進員： 4名

2 認知症地域支援推進員の役割

- 医療機関や介護サービス、地域の支援機関を繋ぐコーディネート
- 認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供
- 地域包括支援センター職員に対する認知症に関するアドバイス
- 認知症の人やその家族を支援する相談業務
- 認証認知症カフェへの支援
- 市の認知症施策の推進について協働する



報告者

市担当課：高砂市役所福祉部人権福祉室 地域福祉課 富士原 佑

認知症地域支援推進員：高砂市地域包括支援センター 濱田 光子

高砂市 認知症施策全体図

認知症ネットワーク



予防・早期発見

- あたまの健康チェック
- 認知症相談センター
- 認知症相談会
- 認知症初期集中支援チーム

地域連携

- 高齢者等見守り・SOSネットワーク
- 認知症あんしんBOOKの作成
- 認知症サポーター養成講座・認知症カフェ
- ステップアップ講座・チームオレンジ
- キャラバンメイト連絡会の開催

標題 ⑤地域共生社会・認知症バリアフリー実現にむけた取組 高砂市におけるチームオレンジの取り組みについて



令和5年度の活動経過

4月	令和4年度に立ち上がった、2つのチームを訪問。継続支援。
5月	市のチームオレンジ活動推進WG会議に参加。2チーム継続支援。
6月	2チーム訪問、継続支援。新たなチームの開拓のため、サロンに参加。
7月	さくらの会にて認サポステップアップ講座を開催。チームオレンジ誕生！！
8月	チームオレンジの2チーム訪問。継続支援。
9月	チームオレンジの2チーム訪問。継続支援。
10月	新たなチーム開拓のため、地域の集いの場に参加。
11月	1チーム訪問。継続支援。
12月	新たなチーム開拓のため、地域の集いの場に参加。
R6.1月	3チーム訪問。継続支援。新たなチーム開拓のため、集いの場に参加。
R6.2月	研修参加。包括主催、認サポステップアップ講座を開催。1チーム訪問
R6.3月	2チーム訪問。継続支援。地域の集いの場に参加。認カフェに参加。

チームオレンジコーディネーターの活動

- ・地域の通いの場やサロン、いきいき百歳体操、認知症カフェ、地区の協議体に出向き、認知症の方の支援ニーズや社会資源の実態把握
- ・生活支援コーディネーター連絡会議に毎月参加し、地域の状況を把握
- ・チームオレンジとして活動が見込まれる住民サポーターへの立ち上げ支援
- ・ステップアップ講座の企画・開催
- ・チームオレンジ登録後はほぼ毎月訪問し、チームオレンジの運営のバックアップ



高砂市チームオレンジの登録について

- ①だれでも参加できる。（認知症の人でもチームの一員として参加できること）
- ②月に1回程度の参加者の交流がある。（月1回程度はチームメンバー同士の交流があること）
- ③認知症を正しく理解して、応援してくれる人がいる。（ステップアップ講座修了及び予定のサポーターでチームが組まれていること）
- ④認知症の人、またその家族の困りごとの手助けができる。（認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援できる仕組みとなっていること）

効果 グループで何気なく行っていた見守り活動だったが、チームオレンジを結成することで、認知症に対する意識がさらに高まった！

チームオレンジ シニア春日野



チームオレンジ チームロバ



チームオレンジ さくらの会





課題

- ・今までは、地域のグループで以前から認知症の方等見守り活動を行っている団体へ働きかけたが、今後は様々な形のチームオレンジを模索したい。
- ・地域包括支援センターに認知症地域推進員と兼務のチームオレンジコーディネーターを1名配置。兼務なので包括の業務・認知症の方の相談・その他の推進員の取組み等、業務が多忙であり、地域に出ていく時間に限りがある。



最後に・・・

チームオレンジに登録しているチームを定期的に訪問することで、地域の方との関係作りができ、認知症の人と家族の困りごとを早期から継続して支援ができています。

今後も、生活支援コーディネーターや、地域包括支援センターの認知症施策担当者、市の地域福祉課と連携、協力して事業を進めていきたいと思います。

認知症になっても安心して暮らせるまち高砂をめざして